

津田眞澂
山田高生 編

社会政策の思想と歴史

千倉書房

津田眞澂 編
山田高生

社会政策の思想と歴史

——大陽寺順一教授還暦記念論文集——

千倉書房

まえがき

大陽寺順一教授は、昭和五十九年八月十八日、めでたく還暦を迎えられた。教授は、終戦直後の時期より今日にいたるまで、東京商科大学とその後身一橋大学（社会学部）において、社会政策学の研鑽を積まれるかたわら、講義と演習を通して数多くの人材を各界に送り出してこられた。教授はその間、社会政策学会の代表幹事や一橋大学の評議員などの要職を務められ、学会と大学の発展のために貢献された。教授はまた、われわれ研究者に対し、師としてあるいは友人として惜しめない指導と援助を与えて下さった。われわれは、ここに教授の還暦を祝賀申し上げ、その学恩に感謝し、今後いっそうのご活躍とご健勝を祈念しつつ、謹んでこの論文集を教授に捧げたいと思う。

大陽寺教授は、ドイツを中心としてアメリカさらに日本における社会政策の理論と歴史に関し、つねに開拓的な研究を進めてこられた。教授が社会政策の研究に入られたのとはば時を同じくして、わが社会政策学会では、戦後最大の論争のひとつと言われる社会政策本質論争と窮乏化論争が展開されたが、教授もまた気鋭の理論家としてこれらの論争に積極的に参加され、社会政策理論の深化と拡充に寄与された。教授はその後、社会政策本質論のいっそうの探究をめざされて、欧米諸国の社会政策の思想と歴史の研究へと研究対象を拡大された。とりわけ教授は、戦後の西ドイツにおける「ゲゼルシャフツポリティーク」論の理論的ならびに思想史的研究に取り組み、その卓抜な諸論稿を通じてわが国の社会政策学に新境地を開かれるとともに、近年は、イギリスの「ソーシャル・ポリシー」論の影響をうけてわが国にも登場してきたいわゆる総合社会政策論に、批判的な検討を加えておられる。社会政策の思想と現実が大きな転換期を迎えつつある今日、教授の研究成果に寄せられる期待は今後ますます高まってくるであろう。

本書にご執筆いただいた諸氏は、大陽寺教授の学問上の先達を含めて、教授の研究に深く学ぶところのあった者ばかりである。本書には、とくに教授ご自身から「私の履歴書」のご執筆をいただいた。そこに示されているとおり、教授の学究生活を一貫する研究上の枠組は「社会政策の思想と歴史」であり、本書を構成する各論文は、教授のこの枠組の中に自らの占めるべき位置をそれぞれ見出すことができる。本書は、教授の社会政策研究を光源としながら、執筆者諸氏がそれぞれにかかえる現代の学界の中心的諸問題を、この書物の上に投影したものといつてよいのである。本書は、最初の企画と執筆者依頼の時点から数え、ほぼ二年を経て上梓できることになった。いくつかの困難を克服して、ともかくここに予定通り刊行の運びとなったのは、ひとえに大陽寺教授のお人柄によるものである。この機会に、ご多忙のなか快く労作を寄せられた執筆者各位に対し心から御礼申し上げたい。また、ゼミナール卒業生の組織である太陽会は、いち早くこの記念事業のための募金活動に着手され、財政面での準備を整えてくださった。太陽会関係各位のご尽力に対し、深く感謝の意を表するものである。

最後に、本書の企画段階からさまざまなご援助をいただいた千倉書房の千倉孝副社長、同社編集部鈴木敏也部長に対し、この場を借りて厚く御礼申し上げる次第である。

昭和六十年六月

大陽寺順一教授還暦記念論文集編集委員会

第一部

ソーシャル・ポリシー論について……………	小山路男	3
——ティトマスとマージナルを中心として——		
ペンタム主義と社会政策……………	木村正身	17
労働時間の「弾力化」について……………	島崎晴哉	59
——西ドイツにおける八四年協約闘争の経験——		
国家社会主義と社会政策……………	池田浩太郎	83
——アードルフ・ワーグナーの社会政策思想——		
社会政策家としてのマックス・ヴェーバー……………	中村貞二	107
第一次大戦前ドイツにおける社会学的社会政策論の形成……………	山田高生	135
西南ドイツ自由主義と社会政策……………	木村周市朗	161
——ローベルト・フオン・モールの社会政策思想の初期局面——		
ワイマル経済民主主義と社会政策……………	須山光一	203
経済民主主義論の構造と論理……………	臼井英之	225

第二部

ドイツ家内労働者保護問題と社民派・改良派の協力体制……………	一條和生	249
——第一回全家内労働者保護会議の開催——		
日本の企業における企業規模別定着雇用層の長期計測……………	津田眞澄	289
——昭和三六―五八年——		
第二次大戦後における公害対策の端緒形態……………	村橋克彦	311
——京浜工業地帯を中心として——		
イギリスにおける家内労働問題……………	小林巧	335
——苦汗産業展示会とB・L・ハチンズ——		
英国中小企業と雇用……………	外池正治	349
家庭経済よりみた一九世紀末英国における貧困……………	吉田恵子	367
人口移動理論の検討……………	依光正哲	389
社会政策論のための基礎概念……………	高田一夫	407
——社会関係論的考察——		
アメリカにおける鉄道従業員退職年金法の成立……………	藤田伍一	427
私の履歴書……………	大陽寺順一	445

社会政策の思想と歴史

——大陽寺順一教授還暦記念論文集——

昭和60年7月1日 発行

《検印省略》

© 津田眞激 編
山田高生

発行者 千倉悦子

発行所 千倉書房

〒104 東京都中央区京橋2-4-12
京橋第一生命ビル
電話・東京 (273) 3931 (代)
振替口座・東京 2 - 978

印刷・日成エンタープライズ/製本・中島製本

ISBN4-8051-0510-0